

県社保協 第1回(2023年1月)幹事会(報告)

日時: 2023年1月10日【火】18:00~19:30

場所: 鹿商連事務所 2階会議室

参加: 重満忍、橋元高博、福丸裕子(以上共同代表)

日高 光雄(事務局長) 山内 太志郎、池田 勝久(以上事務局次長)

有水 千尋、祝迫 加津子、長野 誠、谷口 優子、平良 行雄

高岡 茂、有馬 裕子、平田 優、福元 秋信、松崎 真琴、(年金者組合)

行田 義仁、富島 隆治(以上幹事)

豎山 清隆、村上 洋平(以上監査)

参加者が少なかったため、全て報告事項として取り扱いました。次回幹事会で、再度協議したいと思いますので、ご意見等ございましたら、事務局までお知らせください。

【議題】

- 1、各団体活動報告(12~1月)及び中央社保協報告について
- 2、各加盟団体からの報告について
- 3、総会について
- 4、子ども医療費無料化に向けて
- 5、いのちのとりで裁判支援について
- 6、各分野別課題と今後の取り組みについて
(国保、高齢者福祉・介護、障がい者(児)、子育て、年金、労働、生保など)
- 7、その他
 - 1) 日程について
 - 2) その他
- 8、ミニ学習会について

【事務局報告】

- 12月07日(水) 中央社保協運営委員会
12月08日(木) いの健鹿児島総会
12月10日(土) 鹿児島県社保協総会
12月11日(日) 川内原発の20年延長問題を問う「県民投票」意見交換会
12月12日(月) 水俣病支援オルグ(護憲平和F 社民、共産、立民)
12月16日(金) 中央社保協ブロック会議

- 12月17日（土） 映画「島を守る」上映会
12月19日（月） いのちのとりで裁判公判
12月26日（月） 九条改憲ストップ医療者アクション打ち合わせ

1、中央社保協報告について

1）運営委員会報告

別紙参照

2、各団体活動報告

生健会・・・

民医連・・・

県商連・・・新春の集いを行い 34～5 名が参加した。国保税が払えない方も増加している。インボイス制度の延期を求める意見書が奄美市議会採択された。署名に取り組んだことが採択に繋がった。意見書採択は県内で3件目。

保険医協会・・・3月に総会を準備している。マイナ保険証義務化には反対。特に補助金はあるものの、機械の設置やインターネット回線工事などが高額となっている。閉院を考えている会員もいる。軽度・中等度の難聴児への補聴器助成については、別途案内します。

県労連・・・

医労連・・・

自治労連・・・非正規雇用が全国で 36% 現在非正規雇用の改善に取り組んでいる。利用者のマイナンバーカード申請はたいへん。麦の芽労働組合を立ち上げた。執行委員長は谷口さん。

年金者組合・・・

民青同盟・・・

共産党・・・

新婦人・・・

霧島市社保協・・・

市民の市政をつくる会・・・

3、総会のまとめについて

1）日時・場所

12月10日（土）14：00～17：00

自治会館 402 号 オンライン併用

参加者 27 名（オンラインの参加なし）

生健会及び市民の市政をつくる会以外は、ほぼ役員中心の参加にとどまった。

2) 特別報告

テーマ「いのちのとりで裁判とは～大阪、熊本、東京、横浜の勝利判決の概要と鹿児島判決の展望～」

講師 溝延 祐樹さん（国分隼人法律事務所 いのちのとりで裁判 弁護団）

動画の必要な方は、事務局までご連絡ください。

3) 議案

すべての議案を参加者全員で確認した。各団体からの報告も議案を補強する報告でした。いのちのとりで裁判支援については、改めて裁判支援の要請がありましたので、今後、何らかの取り組みを、25 条の会や生健会とも協力しながら検討したいと思います。

4) 懇親会は参加者が少なかったため中止しました。

5) その他

4、子ども医療費無料化に向けて

1) 鹿児島県社保協独自の署名内容について

別紙参照

①陳情署名の宛先は、県知事及び県議会議長にします。

②広範な県民に協力いただくため、実行委員会形式で取り組みたいと思います。

その場合、「子ども医療費の現物給付を求める会（仮称）」を今春（統一地方選以降）に立ち上げ、事務局を、県社保協にします。

鹿児島県議選 4 月 9 日投票日

阿久根、垂水、枕崎市など議員選挙 4 月 23 日投票日

2) 「求める会」について

①総会までの期間、「求める会」への参加を、県社保協の加盟団体をはじめ、医療団体（医師や医療機関含む）や女性（母親）団体、子ども団体など、広範に呼びかけます。各加盟団体の会員やつながりのある団体・個人への呼びかけをお願いします。

*呼びかけ文書のひな形を事務局で作成します。（別紙参照）自由にアレンジして活用してください。

*政党や県議会各会派などへは、総会後に呼びかけます。

②求める会の「申し合わせ」を作成します。別紙参照

幹事会については、当面、社保協の幹事会の中で短時間行います。社保協役員以外からの幹事の選出は考えていません。

役員（案）

代表幹事：新婦人 県労連

幹事：医労連 保険医協会 民商 民青 民医連（事務局）

財政は、社保協からの拠出金で賄います。

- ③求める会の結成総会と記念講演を、5月13日（土）14：00～16：00に開催します。
記念講演は、沖縄県社保協の取り組みを報告してもらってはいかがでしょうか。
総会の案内を青潮会を通じて各マスコミに行います。

3) 取り組み期間について

- ①署名の取り組み期間 2023年5月～2023年11月
2023年12月県議会に向けて、11月上旬までに集約し、11月中旬までに提出します。
②期間中に数回、署名宣伝行動、学習会を行います。

4) 目標について

県全体で、20,000筆を目標に取り組みます。
各加盟団体については、下部組織に下ろしてください。
加盟していない団体には、各県組織に県社保協から依頼します。但し、労働組合については、県労連から各単産に下ろしてください。

5) その他

5、いのちのとりで裁判支援について

- 1) 次回期日（3月20日（月）14：00～16：30）から、原告本人の尋問が行われます。
3月20日には、3名の原告が証言に立ち、主尋問・反対尋問に応じます。
原告を励ますため、最大限の傍聴に取り組みます。
2) 宣伝行動や集会など、生健会と25条の会と調整します。
①3月20日13：15～13：30まで県民交流センター前庭でミニ集会を行い、その後裁判所までデモ行進を行うのはどうか？

6、各分野別課題と今後の取り組みについて

- 1) シンポジウム「私たちの税金の使い道を考える～医療・福祉の充実を」（別紙参照）
2023年2月19日（日）14：00～16：00
サンプラザ天文館6階大ホール
参加無料
基調報告 保団連会長 住江憲勇さん
パネラー報告① 米盛病院 院長 米盛公治さん
パネラー報告② 鹿児島生協病院 生協ケアプランセンター 阿久根平さん
2) 有田芳生講演会「旧統一教会問題を考える」（別紙参照）
2月4日（土）14：00～
市民文化ホール 大ホール
入場料 1,000円

7、その他

1) 今後の日程

1月21日(土) 14:00～ 市政県政報告会・市民の市政をつくる会 老人福祉会館

2) 水俣病被害者支援について

次回幹事会日程(案)2月14日(火)18:00～ 鴨池公民館研修室A

確定申告の関係で、民商の会議室が使用できませんので、会場を変更しています。

県社保協 第2回(2023年2月)幹事会(報告)

日時：2023年2月14日【火】18:00～19:30

場所：鳴池公民館 第1研A

参加：重満忍、橋元高博、福丸裕子(以上共同代表)

日高 光雄(事務局長) 山内 太志郎、池田 勝久(以上事務局次長)

有水 千尋、祝迫 加津子、長野 誠、谷口 優子、平良 行雄

高岡 茂、有馬 裕子、平田 優、福元 秋信、松崎 真琴、(年金者組合)

行田 義仁、富島 隆治(以上幹事)

堅山 清隆、村上 洋平(以上監査)

【議題】

- 1、各団体活動報告(1～2月)及び中央社保協報告について
- 2、各加盟団体からの報告について
- 3、子ども医療費無料化に向けて
- 4、いのちのとりで裁判支援について
- 5、各分野別課題と今後の取り組みについて
(国保、高齢者福祉・介護、障がい者(児)、子育て、年金、労働、生保など)
- 6、その他
 - 1) 日程について
 - 2) その他
- 7、ミニ学習会について

【事務局報告】

- 01月11日(水) 中央社保協運営委員会
- 01月16日(月) 市民の市政をつくる会 幹事会
- 01月19日(木) いの健鹿児島 幹事会
- 01月21日(土) 市民の市政をつくる会 総会
- 01月23日(月) 対県要請行動(危険手当終了問題)
- 01月30日(月) 九条改憲ストップ医療者アクション打ち合わせ
- 02月05日(日) 九条改憲ストップ医療者アクション 宣伝行動
- 02月08日(水) 中央社保協代表者会議
- 02月13日(月) 九条改憲ストップ医療者アクション打ち合わせ

1、中央社保協報告について

1) 運営委員会報告

別紙参照

2) 代表者会議報告

別紙参照

2、各団体活動報告

生健会・・・

民医連・・・

県商連・・・

保険医協会・・・軽度・中等度難聴児補聴器助成事業について、実施していない5つの自治体に問い合わせを行い、全ての自治体で助成を開始させることができたことが報告された。

県労連・・・2月4日に評議員会を開催し、春闘方針を確認した。評議員会後、天文館でローカルビッグアクション（宣伝行動）を行った。物価高に対応し、イオンや鹿銀が賃上げ方針を掲げる中、ストも辞さず賃上げを勝ち取る。

医労連・・・2月3日に中央委員会を開催し、春闘方針を確認した。2月15日には、医労連、民医連、社保協の3者で危険手当の継続を求めて県に要請を行う。

自治労連・・・麦の芽労組で、3月8日初の団体交渉を行う。

年金者組合・・・

民青同盟・・・12月のもってけ市のアンケート結果について紹介があり、利用者の30%が社会人であったこと、学生はもとより、社会人特に高齢者の生活が深刻になっていることが報告された。

共産党・・・

新婦人・・・

霧島市社保協・・・

市民の市政をつくる会・・・

3、子ども医療費無料化に向けて

1) 鹿児島県社保協独自の署名内容について

別紙参照

①陳情署名の宛先は、県知事及び県議会議長にします。

②広範な県民に協力いただくため、実行委員会形式で取り組みたいと思います。

その場合、「子ども医療費の現物給付を求める会（仮称）」を今春（統一地方選以降）に立ち上げ、事務局を、県社保協にします。

鹿児島県議選 4月9日投票日

阿久根、垂水、枕崎市など議員選挙 4月23日投票日

2) 「求める会」について

- ①総会までの期間、「求める会」への参加を、県社保協の加盟団体をはじめ、医療団体（医師や医療機関含む）や女性（母親）団体、子ども団体など、広範に呼びかけます。各加盟団体の会員やつながりのある団体・個人への呼びかけをお願いします。

＊呼びかけ文書のひな形を事務局で作成します。（別紙参照）自由にアレンジして活用してください。

＊政党や県議会各会派などへは、総会後に呼びかけます。

- ②求める会の「申し合わせ」を作成します。別紙参照

幹事会については、当面、社保協の幹事会の中で短時間行います。社保協役員以外からの幹事の選出は考えていません。

役員（案）

代表幹事：新婦人 県労連

幹事：医労連 保険医協会 民商 民青 民医連（事務局）

財政は、社保協からの拠出金で賄います。

- ③求める会の結成総会と記念講演を、5月13日（土）14：00～16：00に開催します。

記念講演は、沖縄県社保協の取り組みを報告してもらってはいかがでしょうか。

総会の案内を青潮会を通じて各マスコミに行います。

3) 取り組み期間について

- ①署名の取り組み期間 2023年5月～2023年11月

2023年12月県議会に向けて、11月上旬までに集約し、11月中旬までに提出します。

- ②期間中に数回、署名宣伝行動、学習会を行います。

4) 目標について

県全体で、20,000筆を目標に取り組みます。

各加盟団体については、下部組織に下ろしてください。

加盟していない団体には、各県組織に県社保協から依頼します。但し、労働組合については、県労連から各単産に下ろしてください。

5) その他

＊陳情項目について協議しました。引き続き全国の状況を見ながら協議することになりました。

4、いのちのとりで裁判支援について

- 1) 次回期日（3月20日（月）14：00～16：30）から、原告本人の尋問が行われます。

3月20日には、3名の原告が証言に立ち、主尋問・反対尋問に応じます。

原告を励ますため、最大限の傍聴に取り組みます。

- 2) 宣伝行動や集会など、生健会と25条の会と調整します。

①3月20日13:15～13:30まで県民交流センター前庭でミニ集会を行い、その後裁判所までデモ行進を行うのはどうか？

***生健会や25条の会と協議し、進めることにしました。**

5、各分野別課題と今後の取り組みについて

1) シンポジウム「私たちの税金の使い道を考える～医療・福祉の充実を」(別紙参照)

2023年2月19日(日)14:00～16:00

サンプラザ天文館6階大ホール

参加無料

基調報告 保団連会長 住江憲勇さん

パネラー報告① 米盛病院 院長 米盛公治さん

パネラー報告② 鹿児島生協病院 生協ケアプランセンター 阿久根平さん

2) 憲法壊すな・戦争法廃止!かごしまの会 学習講演会(別紙参照)

『危機の時代』に戦争ではなく平和の準備をー今こそ憲法9条の出番

2月23日(木 祝日)14:00～16:30

かごしま県民交流センター3階 大研修室1

講師 井上 正信さん (弁護士 尾道総合法律事務所)

3) 老朽原発うごかすな「ストップ川内原発3.11かごしまパレード

3月11日(土)13:30～16:30

13:30～14:30 さよなら原発集会

14:30～16:30 NO NUKESパレード

鹿児島市天文館公園

6、その他

1) 今後の日程

2) 水俣病被害者支援について

①総決起集会

5月28日(日)13:30～

嘉島町民会館(熊本県上益城郡嘉島 御船インター近く)

各団体から1名以上の参加をお願いします。

JR熊本駅からのアクセスが不便なため、マイカー又はタクシー乗り合い

次回幹事会日程4月12日(水)18:00～

新型コロナウイルス感染症対応医療従事者支援事業の終了を受けて
鹿児島県に継続と充実を求めて要請行動

去る 1 月 23 日、新型コロナウイルス感染症対応医療従事者支援事業が、今年 1 月末で終了することを受けて、鹿児島県に事業の継続等を求める要請を、鹿児島県医労連、鹿児島民医連、鹿児島県社保協の 3 者で行いました。参加者からは、「突然の終了に落胆している」、「第 8 波の拡大により、医療現場はこれまで以上にひっ迫している」、「なぜ継続できないのか、せめて 5 類への引き下げが実施されるまでは継続して欲しい」、「今回の終了をどのように判断したのか?」、「コロナ対応に疲れ辞める看護師も多い」、「危険手当はコロナ対応する職員のモチベーションにもなっている」、「訪問看護へも拡大して欲しい」、など、現場の切実な意見が出されました。

鹿児島県の担当者は、「事業の継続は難しい」の一辺倒で、今回の要請での改善ははかれませんでした。が、引き続き県議会等でも取り上げ、改善を求めていくこととなりました。県民のいのちをコロナ感染症から守るためにも、国や県

など行政は、医療機関やそこで働く職員を最大限支援することが必要です。行政の責任を放棄し、「お金がないから」と、事業をやめてしまうことは、行政の怠慢に他なりません。行政には、国民のいのちと生活を守るという、原点に立ち返ってもらいたいです。



憲法壊すな・戦争法廃止!かごしまの会 学習講演会のご案内

岸田政権は、昨年 1 月 26 日、敵基地能力の保有や軍事費 2 倍化などを定めた安全保障関連 3 文書を閣議決定しました。今回の改定は、長きにわたり安全保障政策の基本としてきた専守防衛を名実ともに捨て去り、本格的に戦争する国づくりを進めるものです。台湾海峡や南シナ海をめぐる米中の緊張関係が高まる中で、安保法制に加えて、安保関連 3 文書が改定されたことで、日本が戦争に巻き込まれる危険性が飛躍的に高まりました。また、鹿児島では、馬毛島基地の建設が始まり、昨年秋からは海自鹿屋基地へ米無人機が配備されるなど、日米の軍事基地（拠点）化が急速に進んでいます。これは、まさに安保関連 3 文書の改定を実践・推進するもので、絶対に許すわけにはいきません。つきましては、下記のように学習講演会が開催されます。多くの皆さんの参加をお願いいたします。

日時 2 月 23 日(木 祝日)14:00~16:30

入場無料

会場 かごしま県民交流センター3階 大研修室1

テーマ 安保関連 3 文書の改定が目指すものとは何か(仮題) ~軍拡が進む鹿児島での影響にも触れながら~

講師 井上 正信さん (弁護士 尾道総合法律事務所)

九条改憲ストップ！医療者アクション 街頭宣伝行動

岸田政権の大軍拡にNO！

去る2月5日、九条改憲ストップ！医療者アクション（構成団体 九条医療者の会 保険医協会 医労連 民医連）が、天文館アーケードで、街頭宣伝行動と岸田政権の大軍拡を問うシール投票を行いました。参加者は、それぞれ、「外交こそ安全保障のかなめ」「大軍拡は生活を押しつぶす」などと書かれたプラカードを持ち、市民にアピールしながら、シール投票を訴えました。また、れいわ新選組の山本太郎張りに大型テレビを使った宣伝等も初めて試みました。

すめようとしている「大軍拡路線」に「NO！」と回答しました。多くの国民が、物価高や実質賃金の低下などで、苦しんでいる時に、何で血税を使って「軍事拡大」なのでしょう。市民の疑問がシール投票の結果でも明らかとなりました。この世論を来る統一地方選挙にも活かし、政治を国民の手に取り戻すため、引き続き奮闘していきます。

約1時間の行動でしたが、国分生協病院の吉見先生や保険医協会の原口会長、医療生協労組の村上さんなどは、歩いている若者らに積極的に声をかけ、70名を超える市民がシール投票に参加してくれました。シール投票の結果は、

①あなたは日本が戦争することに賛成 0 反対 72

②あなたは、税金の使い道をどうして欲しいですか。

軍事強化 3 社会保障の充実 73

と、圧倒的多数が、岸田政権がす



シンポジウム「私たちの税の使い道を考える」開催のご案内

実質賃金は減少し年金も下げられる中、ロシアのウクライナ侵略の長期化や円安によって、空前の物価高となり、国民生活に大打撃を与えています。また、昨年10月からは後期高齢者の医療費窓口負担2割化が開始され、今後更なる社会保障の切り下げも予定されています。そんな中、岸田政権は、昨年12月、敵基地能力の保有や軍事費2倍化などを定めた安全保障関連3文書を閣議決定しました。これは、長きにわたり安全保障政策の基本としてきた専守防衛を名実ともに捨て去り、本格的に戦争する国づくりを進めるものです。そして、この大軍拡の財源を国民に押し付けようとしています。私たちの「税金」を私たちのいのちと生活を破壊する戦争のために使うなど絶対に許されません。県民医連理事の阿久根平さんもパネラーとして参加します。是非多くの皆さんの参加をお願いいたします。

日時 2月19日(日)14:00~16:00

会場 サンプラザ天文館 6階ホール

基調報告 「すすむ軍備拡大と医療・介護の危機」

全国保険医団体連合会会長 住江憲勇さん

パネラー 社会医療法人 米盛病院院長 米盛公治さん

生協ケアプランセンター 阿久根平さん

※基調講演・パネラー報告の後に視聴者と共に意見交換を行います

入場無料

zoom ウェビナー視聴希望の方は
QRコードからのお申込み、または
kybest98@yahoo.co.jp
までメールください。
お申し込みは2月17日まで!



QRコード

川内原発差止等請求事件(九州川内訴訟) 来年度より証人・原告尋問はじまる

去る 2 月 7 日、川内原発差止等請求事件(九州川内訴訟)の第 34 回目となる弁論がありました。今回の弁論では、安保 3 文書の改定と閣議決定により、日本が戦争に巻き込まれる可能性が高まっていること、戦争となれば、ロシアの状況をみても、原発が武力攻撃の標的になること、しかし原発へのミサイル攻撃を防ぐ手だてを日本は持っていないこと、武力攻撃により原発が破壊されれば、甚大な被害が出ることをあげ、**ミサイル攻撃への対処方法が存在していないままでの原発稼働は許されない**と訴えました。

提訴から 10 年以上が経過し、裁判も佳境を迎えています。今年秋からは、証人尋問が開始され、その後原告本人の尋問も行われるようです。

九電は昨年 10 月、原子力規制委員会に対し、20 年の運転延長の続きを終えています。このままでは、戦争と原発事故というダブルの恐怖を抱えながら暮らしていかなくてはなりません。

今、国(政府)に求められることは、国民の安全を守り、恐怖と危険を排除することです。そのためにも、戦争は絶対にしない・起こさせない、そして、いのちや生活を脅かす原発は直ちに止めることです。

現在、川内原発の 20 年延長に反対する署名も取り組んでいます。また東日本大震災から 12 年となる 3 月 11 日(土)には、午後 1 時半より天文館公園で集会も予定されています。

多くの職員のみなさんの参加を願います。



裁判終了後、弁護団による報告会
中央が弁護団長の森雅美弁護士

私たちの税の使い道を考える

シンポジウム

日時 2 月 19 日(日)14:00~16:00

会場 サンプラザ天文館 6 階ホール

基調報告

「すすむ軍備拡大と医療・介護の危機」

全国保険医団体連合会会長 住江憲勇さん

パネラー

社会医療法人 米盛病院院長 米盛公治さん

生協ケアプランセンター 阿久根平さん

※基調講演・パネラー報告の後に視聴者と共に意見交換を行います。

参加費 無料

zoom ウェビナー視聴希望の方は
QR コードからのお申込み、または
kybest98@yahoo.co.jp
までメールください。
お申し込みは2月17日まで!



安保 3 文書改定

学習講演会



日時 2 月 23 日(木 祝日)14:00~16:30

会場 かごしま県民交流センター大研修室 1

テーマ 『危機の時代』に戦争ではなく平和の準備を一今こそ憲法 9 条の出番』

講師 井上 正信さん

(弁護士 尾道総合法律事務所)

参加費 無料

【オンライン参加について】

離島及び鹿児島市外にお住まいの方に限り、オンライン(Zoom)での参加が可能です。視聴を希望される方は、下記のメールアドレスに、

①氏名、②住所、③電話番号を明記の上、お申し込みください。

kenpoukawasuna@kagoshima-min.jp

国民主権と平和を考える2・11集会

去る2月11日建国記念の日に、鹿児島県平和委員会、日本科学者会議鹿児島支部、鹿児島県歴史教育者協議会の主催で、国民主権と平和を考える2・11集会が鴨池公民館で行われ、35名が参加しました。集会では、日本平和委員会の千坂純事務局長が、「岸田政権の大軍拡路線と鹿児島県の軍事基地化」と題して講演され、九州から南西諸島にかけて進む、日米の軍事基地化について、昨年岸田政権が閣議決定した「安保関連3文書」の改定に触れながらお話しされました。

鹿児島県では、海上自衛隊鹿屋航空基地への米軍無人偵察機の配備や奄美ミサイル基地の強化、馬毛島基地建設など、日米の軍事基地化が急速に進んでいます。また、昨年11月には日米統合実働演習(キーンソード23)が奄美大島や徳之島、喜界島などの陸海風域で実施され、自衛隊2万6千人、米軍1万人、それ以外にも、オーストラリアやカナダ、イギリスの軍

艦や航空機が参加して行われました。まさに、台湾有事を想定した実践訓練が着々と進んでいます。昨年12月28日のテレビ番組(徹子の部屋)で、タモリが、来年はどんな年になるのでしょうか」と聞かれ、「新しい戦前になるんじゃないですか」と言われたように、国民の知らぬ間(わからないよう)に、政府は着々と戦争の準備を進めています。そして、仮に戦争となれば、間違いなく鹿児島が戦場となります。戦争反対の声を大きく上げていきましょう。



日本平和委員会の千坂純事務局長

私たちの税の使い道を考える

シンポジウム

日時 2月19日(日)14:00~16:00

会場 サンプラザ天文館 6 階ホール

基調報告

「すすむ軍備拡大と医療・介護の危機」

全国保険医団体連合会会長 住江憲勇さん

パネラー

社会医療法人 米盛病院院長 米盛公治さん

生協ケアプランセンター 阿久根平さん

※基調講演・パネラー報告の後に視聴者と共に意見交換を行います。

参加費 無料

zoom ウェビナー視聴希望の方は
QR コードからのお申込み、または
kybest98@yahoo.co.jp
までメールください。

お申し込みは2月17日まで!



QRコード

安保3文書改定

学習講演会



日時 2月23日(木 祝日)14:00~16:30

会場 かごしま県民交流センター大研修室1

テーマ 『危機の時代』に戦争ではなく平和の準備を—今こそ憲法9条の出番—

講師 井上 正信さん

(弁護士 尾道総合法律事務所)

参加費 無料

【オンライン参加について】

離島及び鹿児島市外にお住まいの方に限り、オンライン(Zoom)での参加が可能です。視聴を希望される方は、下記のメールアドレスに、

①氏名、②住所、③電話番号を明記の上、お申し込みください。

kenpoukawasuna@kagoshima-min.jp

**憲法壊すな・戦争法廃止がごしまの会・かごしま九条の会
安保関連3文書の改定を問う学習講演会**

去る2月23日、安保関連3文書の改定を問う学習講演会が、鹿児島市のかごしま県民交流センターで行われ、オンライン参加を含め、70名が参加しました。

岸田政権は、昨年12月16日、敵基地能力の保有や軍事費2倍化などを定めた安全保障関連3文書を閣議決定しました。今回の改定は、長きにわたり安全保障政策の基本としてきた専守防衛を名実ともに捨て去り、本格的に戦争する国づくりを進めるものです。台湾海峡や南シナ海をめぐる米中の緊張関係が高まる中で、安保法制に加えて、安保関連3文書が改定されたことで、日本が戦争に巻き込まれる危険性が飛躍的に高まりました。また、鹿児島では、馬毛島基地の建設が始まり、昨年秋季からは海自鹿屋基地へ米無人機が配備されるなど、日米の軍事基地（拠点）化が急速に進んでいます。これは、まさに安保関連3文書の改定を实践・推進するもので、絶対に許すわけにはいきません。

講演で、日弁連憲法問題対策本部副本部長の井上正信さんは、「台湾有事」を日本有事にしてはならない、と強調され、そのためには、①専守防衛を厳格に維持する（敵基地攻撃をしない）、②米国の対中政策とは距離をとり、72年国交正常化以来積み重ねてきた対中政策を踏まえ発展させる、③台湾独立に明確に反対する。台湾独立の動きから中台武力紛争になった場合

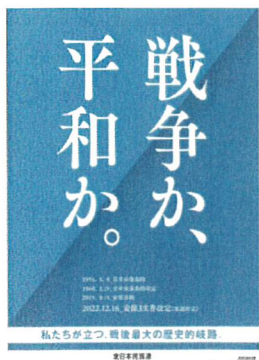


井上正信さん



すべての法人・事業所で「安保3文書改定」の学習を進めよう

全日本民医連が、安保3文書の改定内容を解説したリーフ「戦争か、平和か」を出しました。



3月以降、各法人・事業所に配布します。部会等での学習や討議に、患者・利用者への配布に、共同組織内での学習などに、と大いにご活用ください。

には、台湾を支援しないことを外交ルートで伝える。④我が国が持っている対米関係での有利な立場を活用する（対米外交で安保条約6条の事前協議条項を活用する日本抜きに台湾防衛、中国封じ込めは不可能）⑤安保法制を廃止する（安保法制は中国との戦争を想定したものだ。廃止はとても重要）と訴えました。

また、基地問題で揺れる馬毛島問題について、馬毛島への米軍施設に反対する市民・団体連絡会の清水捷治さんが、基地をめぐる現状について報告し、支援を訴えました。



清水捷治さん